

平成27年7月教育委員会会議の要旨

1 日時

平成27年7月22日(水) 13時30分～14時00分

2 場所

山口市役所別館1階第2会議室

3 出席委員

大野委員長、國弘委員、宮原委員、横山委員、竹内委員、佐々木委員、岩城委員(教育長)

4 欠席委員

なし

5 事務局

山根教育部長、田中教育部次長、眞砂教育総務課長、田中教育施設管理課長、
江山学校教育課長、松本社会教育課長、原田文化財保護課長、中原中央図書館長、
石川教育総務課主幹、一村教育総務課主査

(報告)

○議案第1号「社会教育委員会議の協議内容について」

(概要)

社会教育委員会議の協議内容について、事務局から報告があった。

1. 内容

6月23日(火)に社会教育委員会議を開催し、現在諮問を受けている事案の3つのライフステージのうち、「青壮年の力を活用するための環境づくりと新たな人材育成について」協議を行った。

(主な意見や質疑)

質問： 青壮年期は、子育てが忙しく、共働き家庭の増加もある中で、青壮年の力の活用方法についてどのような意見が出されているか。

回答： 昔と比べ、生活をする場と仕事をする場の距離が離れているという傾向がある。また、職場における時間的拘束が長いといった理由から、地域貢献活動が難しい状況が見受けられる。そうした中で、職場において、勤務時間中に交通立哨に立つといった事例もあり、事業所の協力のもとで、地域貢献活動を行うといった方法について意見が出されている。また、ふるさと納税や寄付といった形で地域貢献を行うことも、働く世代については、一つの方策ではないかという意見が出されている。

○報告第2号「グラウンド芝生化モデル事業のアンケート調査結果について」

(概要)

グラウンド芝生化モデル事業のアンケート調査結果について、事務局から報告があった。

1. 内容

昨年度、嘉川小学校と名田島小学校をモデルとして実施したグラウンドの芝生化事業について、児童、保護者、教職員、ボランティアグループを対象にアンケート調査を実施し、結果についてとりまとめた。

(主な意見や質疑)

質問 : 水撒きの方法や、雨の日の対応、水道代のコスト等はどうなっているか。

回答 : 水撒きは、自動スプリンクラーを使用し、4トンのタンクで毎日4回撒くこととしている。雨の場合などは、湿度を検地するセンサーで調整することとしている。また、使用する水は井戸水を利用している。

質問 : 特定の運動種目が制限されるなど、芝生化に伴って、グラウンドの使用に制約が生じている例があるか。

回答 : 綱引きは、芝の剥がれの原因となるため困難である。また、サッカーをする時は、特定の部分の芝だけが傷まないように、ゴールを定期的に動かしながら行う必要がある。また、ラインを引くと跡が残ってしまうため、代替にポイントを置くなど、各学校で工夫しながら運用をしている。

意見 : 芝生化により、いろいろな意見が出されているが、ひとつずつ課題に対応して、地域にも幅広く受け入れ、活用されるグラウンドとなるように、努力を続けていただきたい。